

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（9月号）

1. JA全農とっとりの取り組み

エフエム東京管内で放送する6番組で、「鳥取県産新甘泉梨」をPR

エフエム東京管内6番組のパーソナリティに鳥取県産梨「新甘泉」の紹介とあわせ、試食した感想をコメントいただき全国に鳥取の“おいしい”を発信した。また、各番組のTwitterアカウントおよび本会「全農広報部 食農応援」アカウントで「新甘泉」のPR活動を展開した。

番組の中では、リスナー6名に「新甘泉」をプレゼントする企画を実施した。



2. JA鳥取信連の取り組み

わくわくよりぞうポイントキャンペーン第1期当選者決定!!

“わくわくよりぞうポイントキャンペーン”の第1期抽選会が7月20日、3JAの本所（店）で実施された。

第1期の応募数は、JA鳥取いなば729枚、JA鳥取中央732枚、JA鳥取西部1,037枚の合計2,498枚と昨年を450枚上回る申込書が集まった。

第2期も、当選された方の喜びの声をセールストークの中で紹介しながら、引続きキャンペーンを盛り上げていく。

《JA鳥取中央本所 抽選会場》



「コロナの感染拡大や全国各地で起きている大雨災害などの暗い話題が多い中、当選された方には明るい話題として接していただき、JAファンの拡大に繋げていただきたい。」（蔵増専務）



3. JA共済連鳥取の取り組み

「交通安全啓発用品」を鳥取県交通対策協議会へ贈呈

秋の全国交通安全運動9月21日～30日に先がけて9月8日に鳥取県庁において「反射材付きトートバック」4千個を鳥取県交通対策協議会（会長：平井伸治知事）へ贈呈した。


当日の贈呈式では、JA共済連鳥取の森山本部長が「秋の全国交通安全運動にあわせて、交通事故未然防止に役立てていただきたい。」と挨拶した後、同協議会副会長の亀井一賀副知事へ目録の贈呈を行った。贈呈したトートバックは、各市町村を通じて交通安全運動期間に地域住民へ配布される。

JA共済連鳥取では、平成22年から交通事故撲滅を目指す活動の一環として、同協議会を通じて学生や高齢者等へ交通安全啓発用品を贈呈し、交通事故の未然防止に取り組んでいる。



目録を亀井副知事（右）に贈る森山本部長

夜間の歩行には反射材を



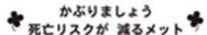
反射材付きトートバック



夜間の歩行には反射材を



かぶりましょう
死亡リスクが 減るメット



鳥取県交通安全川柳
最優秀作品

かぶりましょう
死亡リスクが 減るメット



鳥取県交通安全川柳
最優秀作品



表面にはクローバー高輝度反射材が付いており、夕暮れ時や夜間のお買い物も安心です。

裏面には自転車運転中のヘルメット着用啓発を題名にした鳥取県交通安全川柳の最優秀作品がPRされています。